



生命情報学科学生実験で扱う

# 生き物の紹介

慶應義塾大学理工学部 実験教育支援センター兼中央試験所 長谷純崇

# 生命情報学科学生実験



#### 2年生:基礎生命実験(秋学期)

- ・火曜日の3-4限(課題は制限時間内まで)
- •日吉(第7校舎712、ITC、B実験室)
- -45人~50人
- -10テーマ(前半6テーマ+後半4テーマ)

#### 3年生:生命情報実験(春学期・秋学期)

- -木・金曜日の3-5限(課題終了まで)
- ·矢上(32棟106、32棟206、ITC、14棟418)
- -45人~50人
- •19テーマ(春学期5テーマ+秋学期14テーマ)

# 生き物を扱う時期



	春学期	秋学期
2年生 基礎生命実験		プラナリア イトマキヒトデ ソラマメ
3年生 生命情報実験	イトマキヒトデ	ミミズ

※菌類・培養細胞・ヒトの組織は除く

※マウスやカエルの解剖は行っていない

# 生き物一覧





プラナリア



イトマキヒトデ



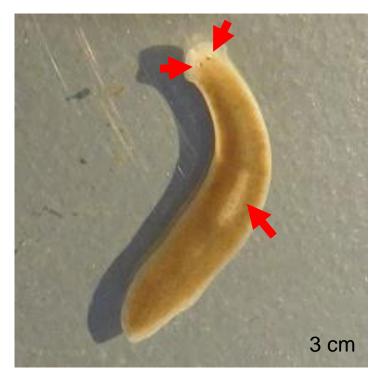
ミミズ

# プラナリア





実体顕微鏡 (10~40倍)



プラナリア (Dugesia ryukyuensis)

- 弘前大学の研究者が沖縄の川で採取 (OH株:生命情報学科松本研)
- ・再生速度が速い
- ・ 光から逃げる性質
- ・眼・咽頭を観察してスケッチ

# プラナリア





食事風景(有性化)

・通常の餌:トリのレバー

セル(ドラゴンボール)

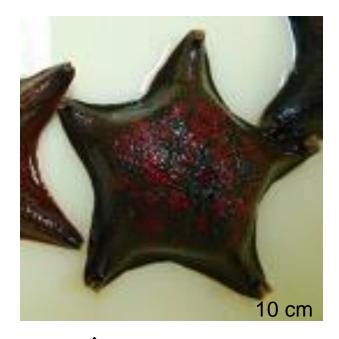
- <u>•17号と18号を吸収し、完全体へ</u>
- •再生可能

### イトマキヒトデ





位相差顕微鏡 (100~400倍)



イトマキヒトデ (Asterina pectinifera)

- 緑色の体に赤い斑点
- -32棟1階の水槽部屋で16℃で飼育

#### イトマキヒトデ



- •三浦半島馬堀海岸
- •5月上旬~6月中旬シーズン

- •研究者・ダイバーが集合
- •10 m沖、深さ2~3 m
- オスとメスの仕分け
- -150円ほど/匹
- オス100匹、メス20匹

# イトマキヒトデ





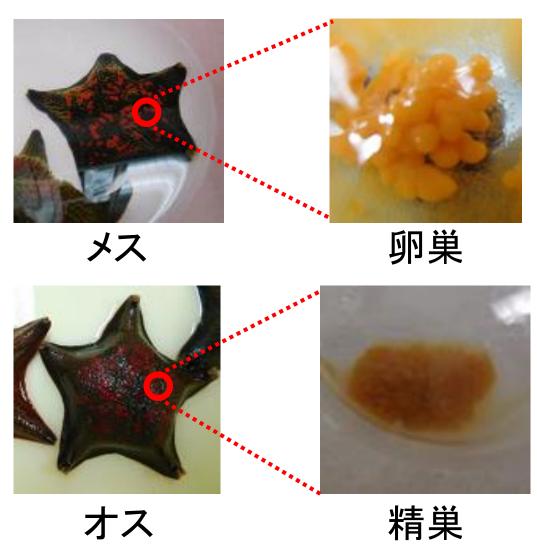
イトマキヒトデ(背)



イトマキヒトデ(腹)

# イトマキヒトデの観察(1)

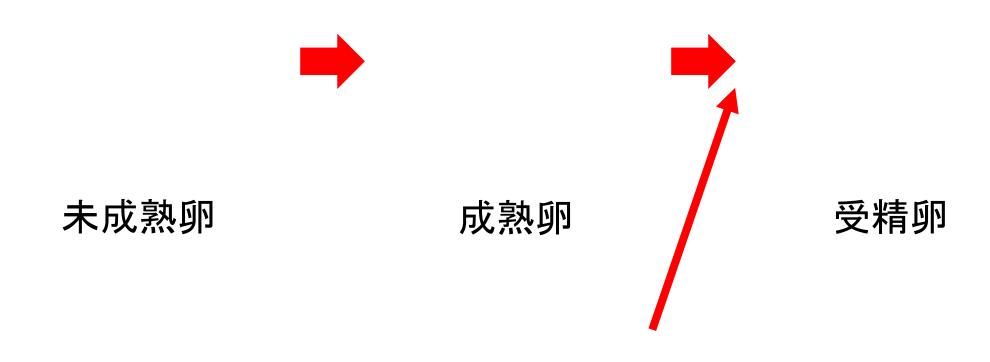




※オスとメスの区別は外見ではつかない

# イトマキヒトデの観察(2)





精子

#### ソラマメ



3 cm

ソラマメ(Vicia faba)

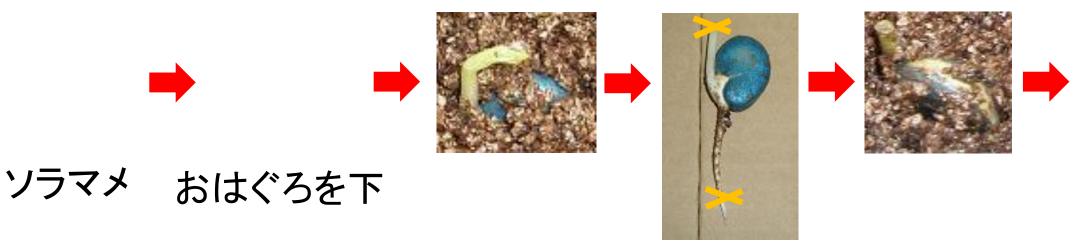
- ・サカタのタネ
- ・打越一寸(初心者向き)

打越一寸の特徴

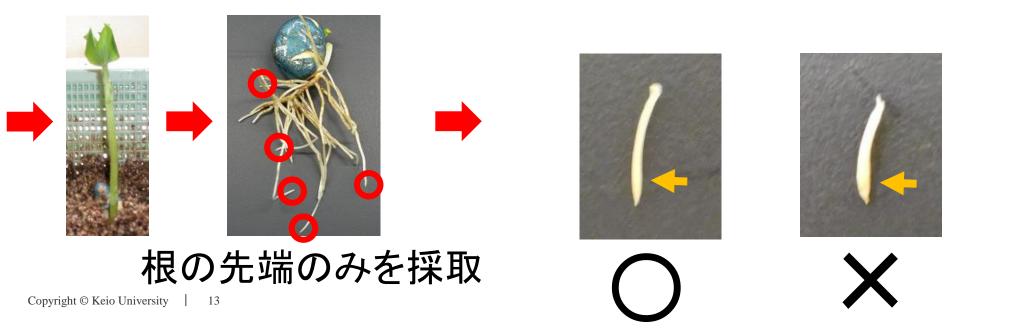
- ・丈夫で育てやすい
- ・1株でたくさん収穫できる
- ・ハリのある豆肌と豊かな風味
- -40円/粒
- -8月下旬~販売
- ・秋にタネまき

# ソラマメのサンプル作成





芽と根を先を切除



# 水耕栽培の検討(1)



	メリット	デメリット
土壌栽培	・強い光の下で育成できる ・電気不要	<ul><li>・抜くときに根が切れる</li><li>・根に土が付く</li><li>・カビやすい</li></ul>
水耕栽培	<ul><li>抜くときに根が切れない</li><li>根に土が付かない</li></ul>	・ケース内で育成するため光量不足になる ・電気が必要

## Green Farm社

# 水耕栽培の検討(2)







- ・密集するとカビが生える
- •2週間に1度水を足す
- \*光量不足







サラダ菜

ソラマメ(イメージ)

### ミミズ





ミミズ(学名: Lumbricus terrestris)

#### 特徵

- •大きい→解剖が容易
- •神経が太い→ストレスに耐えうる



- 釣り餌(大関)
- •60円/匹(FAXで輸入 商社に注文)
- -ヨーロッパで養殖
- ・学生1人あたり8匹用意
- -11月~1月に購入

# 準備で気を付けること



- **・**プラナリア → (無し)
- イトマキヒトデ→ 天候に左右される(今年は当日の朝)、シーズンが過ぎると精子の調子が悪くなったり、水槽で吹いたりするので注意する
- ・ソラマメ → サンプル採取(根の先端が細いもの)
- ・ミミズ →

### 学生の感想



- プラナリア → かわいい、切りたい
- ・イトマキヒトデ→ 臭い(学生実験室がヒトデ臭で充満するが、時間が経つと麻痺してくる)
- ソラマメ → (無し)
- ・ミミズ → 気持ち悪い(女子より男子の方が苦手、2人1 組で行うためどちらかが解剖担当となる)